

養成施設に備えるべき備品

器械器具	<ul style="list-style-type: none"> 一 専門基礎科目用 <ul style="list-style-type: none"> イ 生理学実習用機器(血圧計、聴診器を含む。) ロ 整形外科学・リハビリテーション医学実習用機器(赤外線治療器、ギプス等、温熱療法機器、角度計、握力計、背筋力計を含む。) ハ 救急外科学実習用機器 ニ 装具(十種類以上、スプリントを含む。) 二 専門科目用 <ul style="list-style-type: none"> イ 固定用具一式(副木を含む。) ロ 物理療法実習用機器(各種電法、低周波治療法器を含む。)
模型	<p>人体骨格模型(等身大)、人体解剖模型、循環器模型、神経系模型(中枢神経及び末梢神経を含むもの)、味覚器模型、聴覚器模型、嗅覚器模型、視覚器模型、触覚器模型(外皮)、関節種類模型(八種以上)、上・下肢解剖模型、脊髓横断模型及び実習モデル人型</p>
図書	<ul style="list-style-type: none"> 一 教育上必要な専門図書(電子書籍を含む) 千冊以上 二 学術雑誌(電子書籍を含む十種類以上)
その他の備品	<p>ベッド及びその附属品(生徒三人につき一組以上)</p>

備考 器械器具及び模型については、実習用に必要な数を有すること。